

県中農林ニュース

ひとつ、ひとつ、実現するふくしま



【満開の三春滝桜】

第 32 号（令和 5 年 5 月 1 5 日 発行）

～目次～

- 特集 P. 1-2
- 農林業関係の動き P. 3-8
- GAP取得者紹介 P. 8
- 頑張る農林業者 P. 9
- お知らせ P. 9-10

編集・発行 福島県県中農林事務所

～特集～

新任幹部職員を御紹介します！

【県中農林事務所長 こくぼ かずひで 小久保 和秀 】

4月に県中農林事務所長に着任しましたこくぼ かずひで小久保和秀と申します。

県中地方勤務は28年ぶり2度目となります。

本管内では、福島県農林水産業振興計画で4つの柱を掲げておりますが、その中でも、営農再開の促進に向けたほ場整備及び、林業継続のための森林再生の推進、「岩瀬きゅうり」や「田村のピーマン」などに代表される高いブランド力を

有する産地の生産力確保に向けJA等と連携した園芸産地育成、地域資源を活用した地域振興や、防災力向上のための田んぼダムの推進などをはじめとして、目標を具現化すべく取り組んでまいります。

また、阿武隈川遊水地群からの移転農家の営農継続に向けた支援や凍霜害にあわれた農家への支援などを含め、地域の皆様うちばりの声をお聞かせいただきながら、職員一同が、「情熱」をもって取り組んでまいりたいと思いますので、よろしくお願ひします。



【 県中農林事務所企画部長 ^{さとう ひろみつ} 佐藤 宏光 】

公益社団法人福島相双復興推進機構から派遣解除により着任しました。

同機構では原子力被災地域の営農再開のための農業法人の設立支援・誘致などの仕事をしておりました。県中農林事務所には、約20年前にも勤務しました。水稻の種子場や直播栽培などの担当として、皆様にたいへんお世話になったことを思い出します。

企画部の勤務ははじめてです。

ここ数年は、新型コロナウイルス感染症で、対面でのキャンペーンなどは十分にできなかつた面もありました。これまでの分も県中地方の農産物の販売力強化や農村の魅力発信の活動などに精一杯とりくんで参ります。

よろしくお願ひいたします。



【 田村農業普及所長 ^{はた りょうしち} 畠 良七 】

田村農業普及所長に着任しました^{はた りょうしち}畠良七です。初の勤務地となります。今年の春は早く、4月初旬から桜など花いっぱいの風景や、阿武隈の雄大な景観に感動しています。当地域では、阿武隈山系の中山間地域の特性をいかし、ピーマン等の夏秋野菜や畜産など、特色ある産地が形成されています。普及所では引き続き、震災からの復興はもとより、担い手の育成や産地づくり、地域づくりを支援させていただき、皆さまとともに、伝統ある地域の農業を未来に継承し更なる発展につなげたいと思いますので、よろしくお願ひします。



【 須賀川農業普及所次長 ^{えんどう} 遠藤 あかり 】

このたびの人事異動により、須賀川農業普及所次長に着任いたしました^{えんどう}遠藤あかりと申します。

県中地方には、これまで病害虫防除所、農業試験場、農業総合センター、県中農林事務所農業振興普及部に勤務をしたことがありましたが、今回初めて須賀川地域にまいりました。

当管内は全国有数の「夏秋きゅうり」の産地であり、米、畜産、園芸作物における優れた経営体が数多くあります。経験豊かな農業経営者と、意欲ある若手農業者とともに、この地域の魅力あふれる農業の振興・発展のため少しでもお役に立てるよう、取り組んでまいります



～農林業関係の動き（トピックス）～

須賀川地域青年農業士会研修会が開催されました！【須賀川農業普及所】

令和4年度で青年農業士の任期が満了となる、^{わたなべよしのり}渡辺喜則さんと^{よこたゆうじ}横田雄二さんの農業経営状況を視察する須賀川地域青年農業士研修会が2月21日、会員及び関係者9名の参加により開催されました。

渡辺さんは、日本なし2.7haの他、西洋なしやモモ約2haを栽培しています。経営の概況や、果樹の専業農家としてのお話をいただきました。

横田さんは、水稻1.8haの他、いちご約1.2haを栽培しています。福島県のイチゴの新品種「ゆうやけベリー」栽培の様子を見学しながら、経営や栽培の説明をいただきました。

研修会を通して、会員間で活発に意見交換を行うなど、大変有意義な研修会となりました。



【視察状況（中央奥：^{わたなべよしのり}渡辺喜則氏）】



【視察状況（中央：^{よこたゆうじ}横田雄二氏）】

令和4年度須賀川地域農業普及推進懇談会を開催しました【須賀川農業普及所】

2月22日に、令和4年度須賀川地域農業普及推進懇談会を開催しました。

普及指導協力委員と管内8市町村農政担当者、指導農業士会会長、青年農業士会会長、4Hクラブ会長にご出席いただき、令和4年度の普及指導活動の報告と令和5年度の普及指導計画について協議しました。併せて、調査研究結果の報告と、第10回農業普及活動高度化全国研究大会で全国農業改良普及員協議会長賞を受賞した「主要きゅうり産地を守れ！～地域内の連携と新規就農者等の育成」についての発表がありました。

今後も参加者からいただいた意見をもとに、より地域に根ざした活動を行って参ります。



【懇談会の様子】

山火事防止県中地区連絡協議会を開催しました！ 【森林林業部】

3月7日、令和5年福島県山火事防止県中地区担当者連絡会議を開催し、山火事防止に向けた意見交換や取組に係る意識の共有を図りました。

令和5年、管内で発生した山火事は既に18件、前年(14件)を超えています。

また、3月8日には郡山市中田町で大規模な林野火災が発生し、地域住民の生活に大きな影響があったところです。出火原因のほとんどが火入れなど人為的な場合が多く、一人ひとりの意識が山火事を防ぐことにつながりますので、枯れ草などの近くでのたき火、強風及び乾燥時の火入れ等は行わないように注意をお願いします。



【福島県山火事防止県中地区担当者連絡会議の様子】



【山火事予防啓発用ポスター】

林業アカデミーふくしま第1期生の修了式を執り行いました！ 【林業研究センター】

林業アカデミーふくしま就業前長期研修第1期生の修了式が、3月10日、井出孝利副知事及び渡辺義信県議会議長ご出席のもと執り行われ、14名の研修生がそれぞれの就職先に旅立ちました。

研修生答辞では代表の大原武男さんより、「福島おほらたけおの明るい未来に向かって、森を育み大切に守り続けるそまびと人となる」との決意表明がありました。

県内各地に巣立った研修生は、今後、福島県の林業の中核を担う存在として活躍することが期待されます。



【14名の研修生が県内各地の就業先に巣立って行きました。】

県中防霜対策本部を設置しました。【農業振興普及部】

今年は3月以降の気温が平年より高めに推移し、果樹の生育が平年よりかなり早く進んでいます。そのため、「県中地方防霜対策本部」を昨年度より2日早い、3月20日に設置し、関係機関と連携して気象情報の収集・提供や凍霜害防止等の技術対策支援などを行っています。

4月10日、25日及び28日に果樹を中心に、霜害が発生しています。

次のような気象条件の時には霜害の発生が懸念されますので、被覆資材・燃焼資材等を活用した保温などの対策をお願いします。



対策本部設置の様子

はんざわ おおなみ
(左から半沢農業振興普及部長、大波前所長)

- 降雨後に肌寒い北寄りの風が吹いている
- 夕方になって風が止んだ
- 夜になって晴れ上がり、雲がなく底冷えする

岩瀬清流米が最優秀賞を受賞しました！【須賀川農業普及所】

3月24日に、福島テルサ(福島市)にて、「みんなでチャレンジ！環境保全農業大会2022」が開催され、須賀川市の岩瀬清流米生産組合が優秀賞を受賞しました。

岩瀬清流米生産組合は、昭和58年より特別栽培米の生産に取り組み、定期的な生育調査や田植えイベントを行うなど、地域農業の環境保全に努めています。二瓶副組合長が活動内容の発表を行い、長年にわたる環境に配慮した取り組みが評価されました。

小針組合長は、「今後も、環境に優しい米作りを行い、生産者に安全と安心なお米を提供していきたい」と話していました。



【表彰式の様子(白のジャンパーが岩瀬清流米生産部会)】



【左から JA 夢みなみ担当者、
小針組合長、二瓶副組合長】

ライスファーム^{もみやま}^{もりじゆく} 靱山ライスセンター竣工式【須賀川農業普及所】

3月25日に、須賀川市森宿^{もりじゆく}地区の農事組合法人ライスファーム靱山^{もみやま}のライスセンター竣工式が開催されました。県の産地生産基盤パワーアップ事業を活用して建設され、令和5年秋より本格稼働となります。

竣工式には、地域の生産者や関係者が出席しました。県中農林事務所から、大波前^{おおなみ}県中農林事務所長^{おおはし}と大橋^{おおはし}須賀川農業普及所^{おおはしきよりの}所長が出席し、大波前^{おおなみ}所長が祝辞を述べました。

ライスファーム靱山^{もみやま}の大橋^{おおはし}清則組合長は、「関係機関の協力により、ライスセンター竣工となった。地域の担い手の受け皿として精力的に活動していきたい」と話していました。



【挨拶を行う大橋^{おおはし}組合長】



【ライスセンター外観】

広戸川^{りゅうい}（龍生）ダムの管理システム工事の完了【農村整備部】

農村地域防災減災事業（用排水施設等整備（防災ダム整備事業））龍生^{りゅうい}地区（天栄村）では、新たなダムの監視システムとして遠隔監視機能を追加、また更新時期となったダム管理システム等の改修・更新工事を令和2年度から実施し、令和5年3月、完了しました。

システムの整備により、雨量やダムの水位などの状況を天栄村役場より遠隔監視できるようになりました。また、ダムからの緊急放流時における下流地域への注意喚起を行うため警報局を新たに2基設置しました。

今後も広戸川^{りゅうい}（龍生）ダムの適切な管理を行っていきます。



【ダム管理用制御処理設備】



【第1警報局】

森林保全巡視員辞令交付・パトロール協議会が行われました【森林林業部】

当管内には、県営林 1,088ha と保安林 10,271ha があります。森林の持つ多面的機能の発揮のため、県営林では除伐や間伐などを行い、保安林では伐採等の制限や治山事業を実施しています。

これら森林の保全管理を推進・支援していただく森林保全巡視員 5 名に、4 月 3 日、辞令を交付しました。

また、同日森林保全パトロール協議会を開催、巡視活動における留意事項を情報共有し、意見交換を行いました。

各巡視員には 1 年間を通して巡視活動を行ってもらうことにより、県営林・保安林における林木の生育状況の確認や林地崩壊等の早期発見、適正な保全管理に努めてまいります。



【辞令交付後に小久保所長より激励】



【パトロール協議会で情報共有・意見交換】

こおりやま園芸カレッジ入校式が開催されました【農業振興普及部】

4 月 7 日に郡山市園芸振興センターにて、こおりやま園芸カレッジの入校式が開催されました。

こおりやま園芸カレッジは、園芸作物の栽培により就農しようと意欲ある農業者を育成するため郡山市が行っている長期研修プログラムで、令和 5 年度は 3 名が入校しました。これから 1 年間、園芸作物の栽培技術経営管理を学ぶ研修が行われます。

入校式では、郡山市長の式辞、来賓祝辞の後、入校者を代表して滝田 竜^{たきたりゅう}さんより決意表明が述べられました。

農林事務所では郡山市、郡山市園芸振興センターと連携して 3 名の就農に向けた取組を支援してまいります。



【滝田さんによる決意表明】



【入校式集合写真】

林業アカデミーふくしま第2期生が入講しました【林業研究センター】

4月7日に林業アカデミーふくしま就業前長期研修入講式が、さとうひろたか佐藤宏隆副知事及びさとうまさたか佐藤政隆県議会副議長のご出席のもと執り行われ、希望に満ちた眼差しの第2期生16名が入講しました。

さとう佐藤副知事からは「アカデミーのシンボルツリーようにお互いに支え合い、協力して、福島県の林業の未来を担う人材として大きく成長して欲しい」と、期待の言葉がありました。研修生はこれから1年かけて林業に必要な知識、技術、資格を学んでいきます。




【研修生代表のおおつきまなぶ大槻学さんより誓いの言葉がありました。】



【2期生16名が入講しました。】

GAP取得者紹介


- 
- ①株式会社ベレッシュ (郡山市)
 - ②FGAP (かんしょ)
 - ③「FGAPへの取組を通じて安全でおいしいサツマイモを皆様にご提供します。」



【左から、(栽培責任者)ふるかわきよたか古川清貴氏、(代表)ふるかわきよゆき古川清幸氏、
はんざわ半沢農業振興普及部長】



【左から、はんざわ半沢農業振興普及部長、(農場長)かんだたけよし神田武宜氏、
(代表取締役)たけだひろし武田博志氏、(専務取締役)たけだひろゆき武田博之氏】

- 
- ①古川園芸 ふるかわ古川 きよゆき清幸 (郡山市)
 - ②FGAP (しそ)
 - ③「FGAPの取組を通じて衛生管理を徹底し、安全安心なシソをお客様にお届けしたいと思います。」

- ①氏名(市町村)
- ②GAPの種類(取得した品目)
- ③取得者から一言

【GAPの種類】

GLOBAL G. A. P. : 国際的に広く適用する第三者認証GAP
 ASIAGAP : 日本発の国際基準認証
 JGAP : 日本のデファクトスタンダードのGAP
 FGAP : 福島県が創設した公的認証GAP

～頑張る農林業者～

☆^{きくち}菊池 ^{まさはる}正晴さん(三春町)☆【田村農業普及所】

菊池さんは、親族の果樹栽培に携わったことや、自身がリンゴ好きであることをきっかけに、約2年間の研修を経て、田村管内では栽培面積が少ないリンゴ、モモ等の経営を令和2年1月から開始されました。現在、計1.2haの果樹園地を借り受け、適期作業による収量向上に日々取り組まれています。

生産物は、就農当初は園地での軒先販売が中心でしたが、昨年度は近隣の直売所やイベントでも販売し、販路の拡大に積極的に取り組まれています。「皆が喜ぶような品種を導入し、おいしい果実をお届けしたい」と目を輝かせながらお話しくださいました。



【摘花作業の様子】

～お知らせ～

春の農作業安全運動展開中！ 【農業振興普及部】

乗用トラクターを利用する際の死亡事故が毎年多く発生しています。トラクターの利用が多くなるこの時期、県や関係機関・団体では、4月1日～5月31日までを重点推進期間とし農作業安全運動を展開しています。

今年度のテーマは『徹底しよう！農業機械の転落・転倒対策』です。

乗用トラクターなどを運転するときは・・・



【事故防止対策】

- ほ場周辺の危険箇所の確認・危険回避行動の実践
- 危険箇所の改善（道路端や曲がり角の草刈り、路肩の補強など）

【被害軽減対策】

- シートベルトとヘルメットの着用
- 安全フレーム付きトラクターの利用など徹底するようお願いします。

また、5月以降は熱中症にも気をつける必要な時期となります。作業中はマスクを外し、こまめな休憩・水分補給を行うなど体調の管理にもお気を付け下さい。

須賀川市産うわばみそう（野生）の出荷自粛解除 【森林林業部】

令和5年3月30日に、須賀川市で産出されたうわばみそう（野生）の出荷制限が解除されました。

なお、須賀川市産のうわばみそう（野生）の出荷を希望する生産者の方は、生産者台帳に登録し、県のモニタリング検査を受ける必要があるため、下記まで連絡をお願いします。

【問合せ先】 県中農林事務所森林林業部林業課
電話 024-935-1367



【うわばみそう】

きのこ、山菜の出荷制限等について 【森林林業部】

県中地域産の次のきのこ及び山菜については、モニタリング検査の結果、食品衛生法の基準値（100ベクレル/kg）を上回る放射性物質が検出され、国から出荷制限等が指示されていますので、出荷しないでください。（令和5年5月15日現在）

品 目	制限内容	市 町 村
野生きのこ	出荷制限	郡山市、須賀川市、田村市、鏡石町、天栄村、石川町、玉川村、平田村、浅川町、古殿町、三春町、小野町
こしあぶら	出荷制限	郡山市、須賀川市、田村市、鏡石町、天栄村、石川町、玉川村、平田村、浅川町、古殿町、三春町、小野町
原木しいたけ （露地）	出荷制限	田村市（福島第一原子力発電所から20km圏内の地域に限る）
ぜんまい	出荷制限	郡山市、須賀川市、田村市
うど（野生）	出荷制限	須賀川市
たらのめ（野生）	出荷制限	郡山市、須賀川市、田村市、鏡石町、古殿町
くさそてつ （こごみ）	出荷制限	郡山市、田村市、三春町
たけのこ	出荷制限	郡山市、須賀川市、田村市、天栄村、三春町

※出荷制限品目等については最新の情報を確認してください。

林業振興課 HP <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36055c/ringyo-monitoring.html>

※野生の山菜・きのこ・樹実類及び栽培わらびを出荷できる地域において、出荷をされる場合は事前に生産者登録する必要がありますので、森林林業部林業課に御連絡ください。

林地開発の開発基準の変更になりました。 【森林林業部】

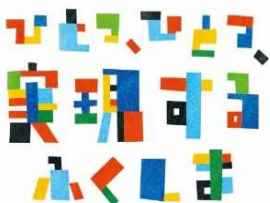
知事が立てる地域森林計画の対象民有林において、1haを超える土地の形質変更を行う場合、知事の林地開発許可が必要ですが、令和5年4月より、太陽光発電設備の設置を目的とした土地の形質変更を行う場合に限り、開発面積が0.5haを超えるものについても林地開発許可の対象となりました。

なお、林地開発許可を取得せずに開発を行った場合には、森林法に基づき監督処分や罰則が科されます。

許可を受けようとする場合は、事前に県中農林事務所森林林業部森林土木課まで御確認願います。

変更内容の詳細は森林保全課 HP を御覧ください。

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36055d/rintikaihatsu.html>



お問い合わせはこちら

【編集・発行】

福島県県中農林事務所 企画部 地域農林企画課

〒963-8540

郡山市麓山一丁目1番1号

ホームページ <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36220a>

TEL 024-935-1510 FAX 024-935-1314

